須賀川商工会議所 「巡回訪問聞き取り調査」結果

当所では、令和 6 年度から四半期ごとに、巡回訪問時に会員企業（中小企業、小規模事業者）の皆様の景況感や経営上の課題などの聞き取り調査を実施しており、それら調査結果を商工会議所の事業運営や行政への要望・提言活動などの参考としています。
今回、令和 8 年 7 月～9 月までの 3 ヶ月間の聞き取り調査結果を取りまとめたことから、その概要についてお知らせします。

令和 8 年度第 2 四半期　調査結果概要

企業収益に二極化の傾向、中東情勢、原油価格上昇の影響も続く

今回の調査では、売上高及び採算について、前年並びに前々年同期と比較し「不変」と回答した企業の割合が減少した一方で、「増加」及び「減少」と回答した企業の割合が増加しました。このことから、売上高及び採算における二極化の傾向が強まっている状況が窺えます。

さらに、採算について、過去 2 年の同期と比較して「悪化」と回答した割合が最も高くなっていることから、利益の確保が一段と難しくなっている状況にあると推察されます。

経営上の課題としては、「物価高騰（材料費高騰）」が 5 期連続で経営課題の上位を占め、物価高騰の影響が今回も顕著となりました。また、今回の調査の特徴として「人手不足」（人材採用・人材育成）や「資金調達・資金繰り」を課題とする割合が上昇しています。

中東情勢、原油価格上昇の影響について尋ねたところ、回答事業所の 75%が「ある」と答え、今回も世界経済情勢が企業活動に影響を与えていることがみとれる結果となりました。

1．今期の調査について

■調査期間　2026 年 7 月 1 日～9 月 30 日

■調査企業数　67 社 （前期 75 社）

＜業種と内訳＞

業　種	数	%
サービス業	36	53.7
建設業	17	25.3
小売業	6	9.0
製造業	8	12.0
合　計	67	100.0

2. 令和 8 年 7 月から 9 月までの 3 ヶ月間の売上、採算の状況

■売上高

項目	R8.7-9 月	前年同期（R7.7-9 月）	前年との比較	前々年同期（R6.7-9 月）	前々年との比較
増加	27.7 %	22.5 %	↗	20.9 %	↗
不変	35.3 %	42.3 %	↘	46.5 %	↘
減少	37.0 %	35.2 %	↗	32.6 %	↗
合計	100.0 %	100.0 %		100.0 %	

■採算

項目	R8.7-9 月	前年同期（R7.7-9 月）	前年との比較	前々年同期（R6.7-9 月）	前々年との比較
好転	24.6 %	12.5 %	↗	17.4 %	↗
不変	29.2 %	51.4 %	↘	47.7 %	↘
悪化	46.2 %	36.1 %	↗	34.9 %	↗
合計	100.0 %	100.0 %		100.0 %	

■中東情勢、原油価格上昇の影響　※影響の詳細は別紙のとおり

項目	R8.7-9 月
ある	75.0 %
ない	25.0 %

■経営上の課題（上位 4 位）※複数回答

期間		項目	%	前年比較
今回	R8.7-9 月	物価高騰（材料費高騰）	65.0	↗
		売上・収益性確保・向上（販路拡大）	47.5	↘
		人手不足・人材採用	40.0	↗
		資金調達・資金繰り	32.5	↗
前年同期	R7.7-9 月	物価高騰（材料費高騰）	55.6	
		売上・収益性確保・向上（販路拡大）	50.0	
		人材採用・人材育成	27.8	
		賃上げ	25.0	
前々年同期	R6.7-9 月	物価高騰（材料費高騰）	57.4	
		人材採用・人材育成	34.0	
		売上・収益性確保・向上（販路拡大）	25.5	
		デジタル技術導入	19.1	

※　%は項目ごとにおいて経営上の課題として指摘した事業所数の割合
※　矢印は前年同期との比較